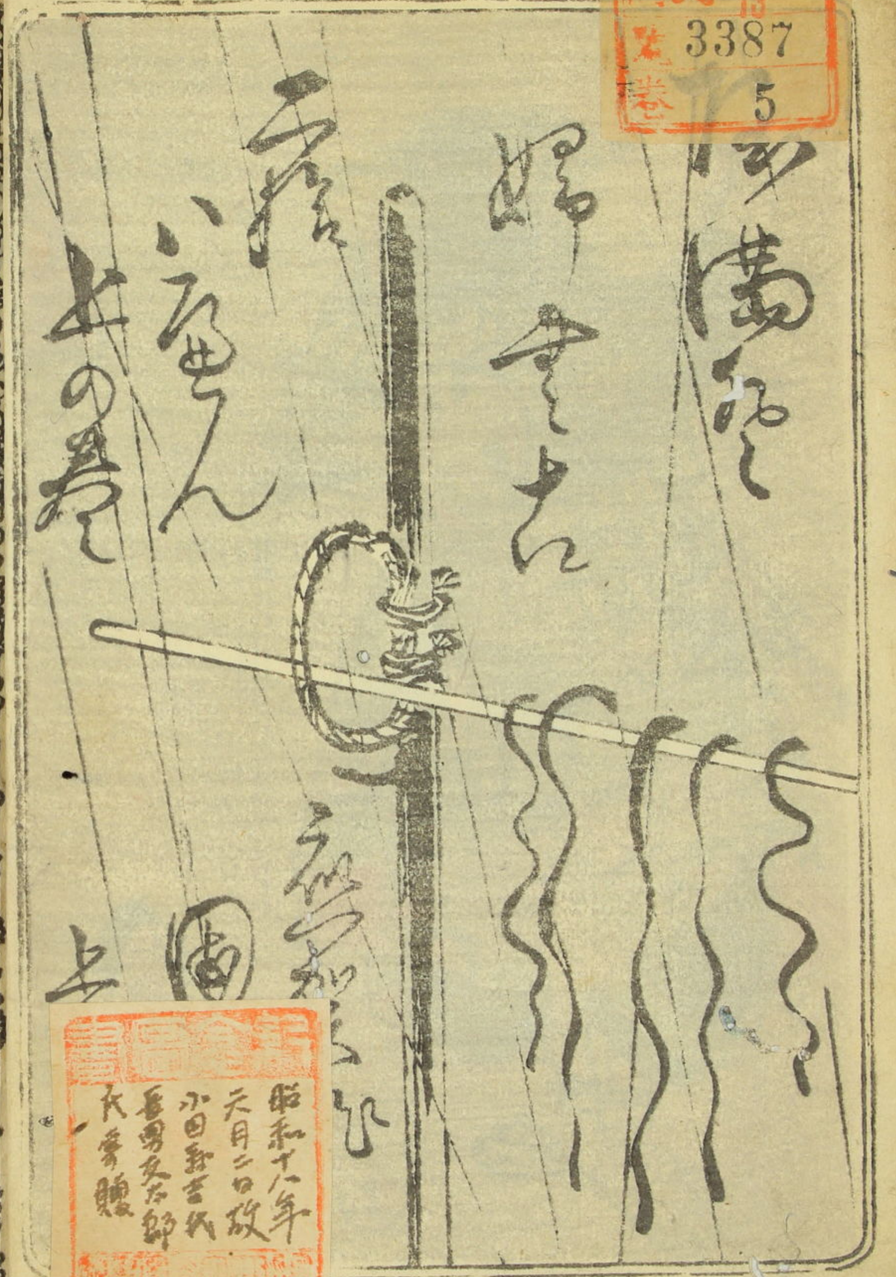
へ13
3387
5

門へ13
3387
5



昭和十八年
六月二日收
小田切氏
長男久太郎
氏寄贈

釋迦八相倭文庫二拾八編叙

夫妄語ハ五戒の一ツ也第一ハ慎むべきとそ

寶ともなさんや什麼世尊出山まします

一切衆生を度せんが為ゐ先華嚴を說玉へど聲聞緣覺ハ啞龍聾の如く所

化の根未熟ゆえ方便の花を咲せ后ゐ法華ゐ實せられ叙復

武士道ゐ謀計あり是ハ嘘そゆえ敵と圖り逆を討て國を治又商人ゐ掛

直あり此も虛言ゆえ渡世と妻子を養ひ

の不斷の虛言も或ハ活計或ハ勸善懲惡の一端ゆえ

ゐよれば真言ゐ勝る德あり妄語も善

嘉永七甲寅年正月吉旦

乃亨應賀註

目蓮

目蓮弟の伽陵長者

長者の妻

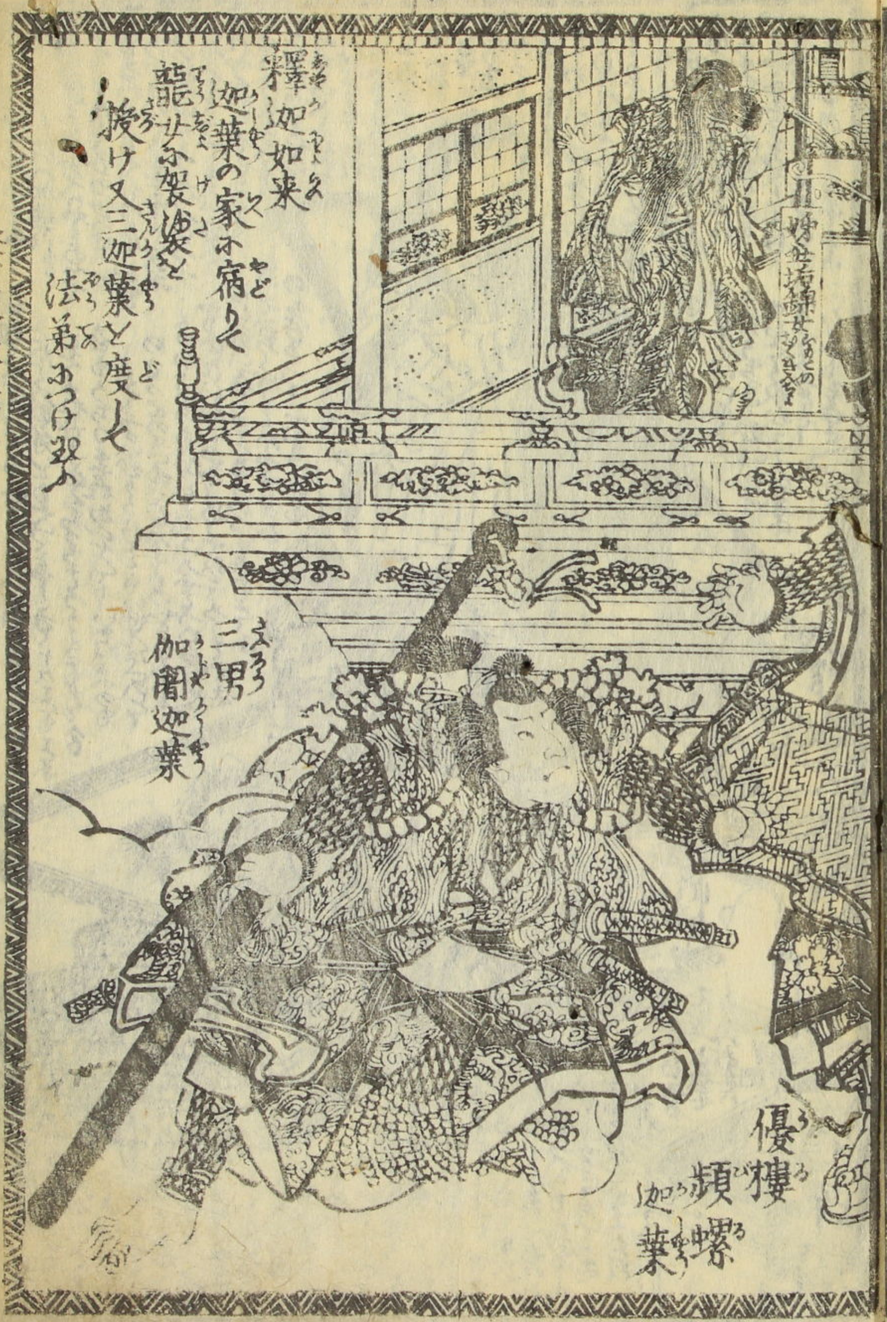
悩むゐ故ゐ大神通力ゐて檀施を勧ゐる

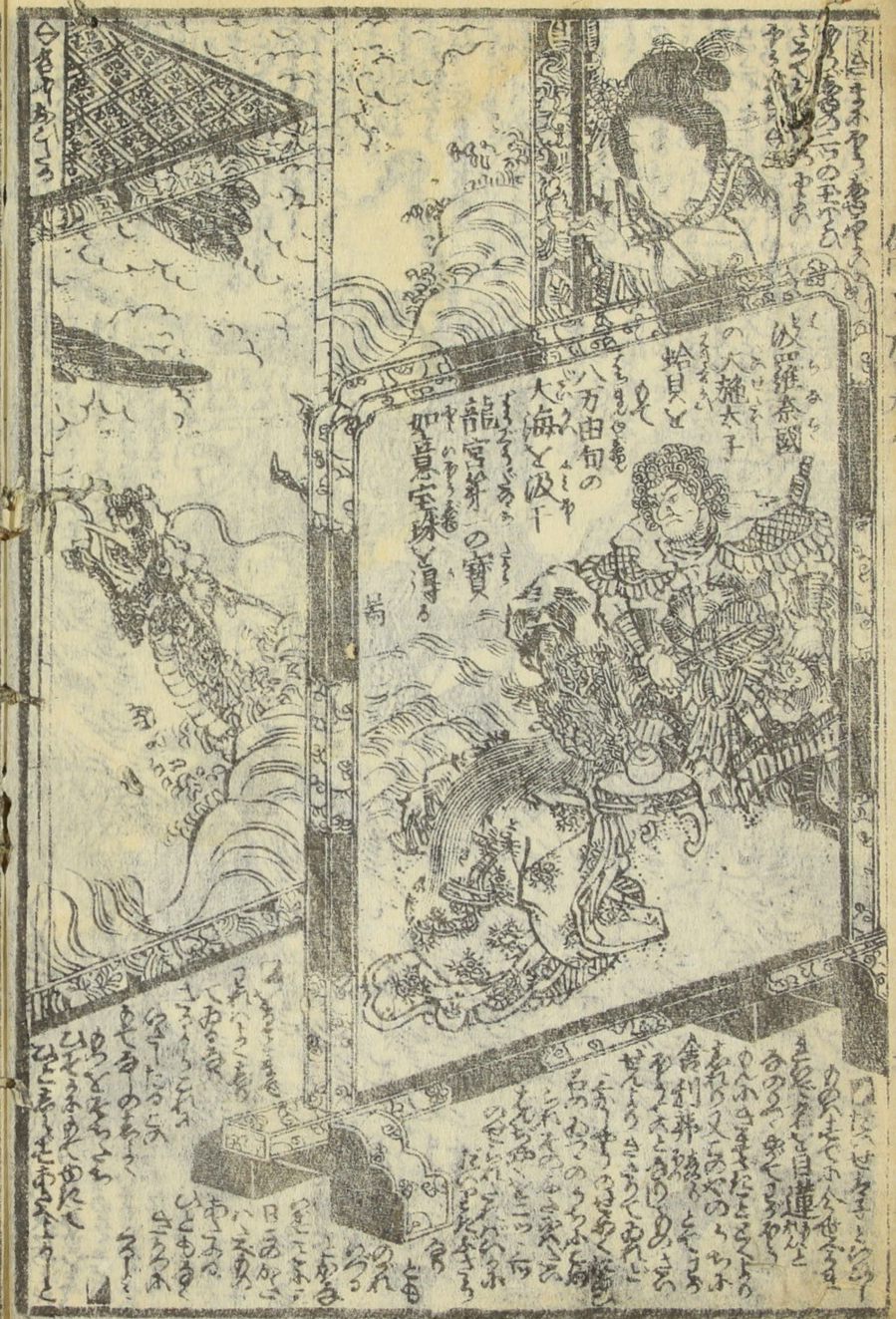
安陸神酒甕を砕て五戒を示ゐ

安陸

伽陵長者

如来
姉宝錦女
二男 那提迦葉
摩訶國の


釋迦如來
如葉の家に宿りて
龍少ふ袈裟と
換け又三迦葉と度して
法弟ふつけ迦葉
三男
伽闍迦葉
優樓頻螺迦葉


阿修羅國の大雄太子
蛤貝と
八万由旬の大海と波十
龍宮珠の寶
如意宝珠と
沙迦羅龍王
金翅鳥の軍。
五百の
小龍
蛸

舍利弗

倭文庫出世双六　應賀作　豊國画

男女振合　役替双六　同作　同画　振合もよろしきものあり

春の遊　将棊双六　同作　貞房画

奥奉公出世双六　同作　同画

武家奉公出世双六　同作　豊國画

重榮御江戸繪圖　奉書四枚半つゞき

子寶延命代衣　同作　同画　紅摺全一冊

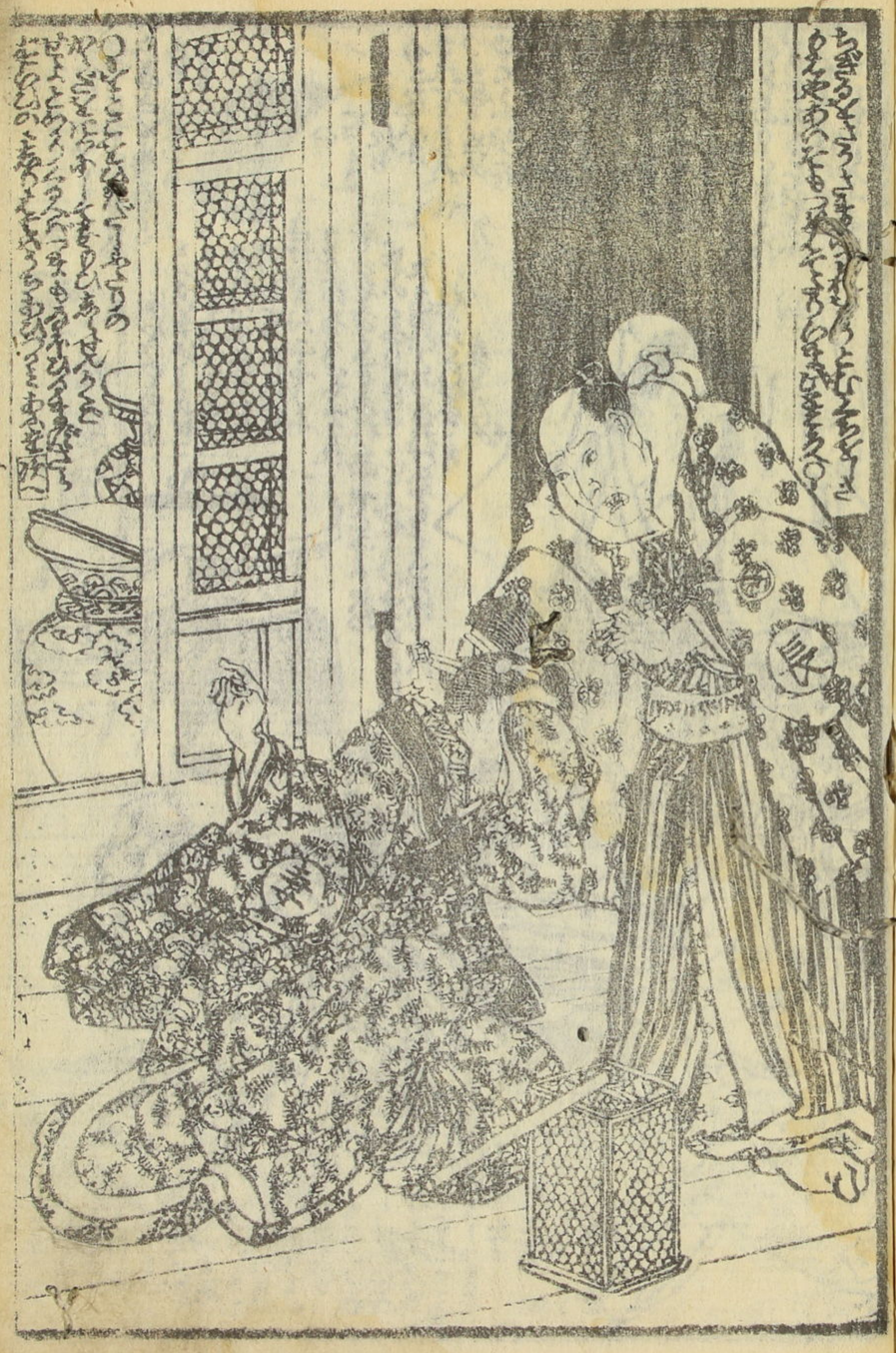
大寶御江戸繪圖　極上摺奉書六枚半續

倭文庫二拾八編

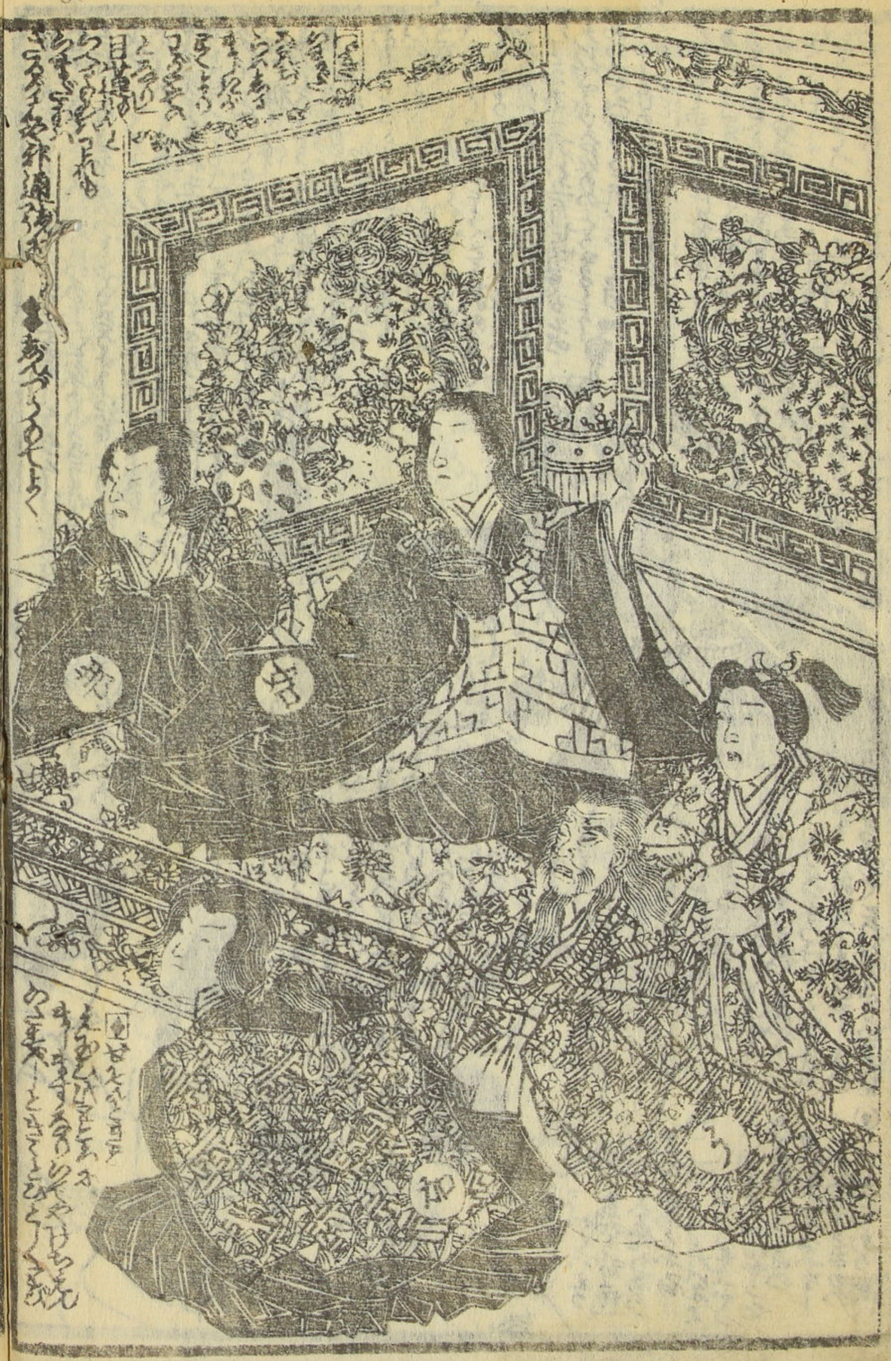
歌川貞画

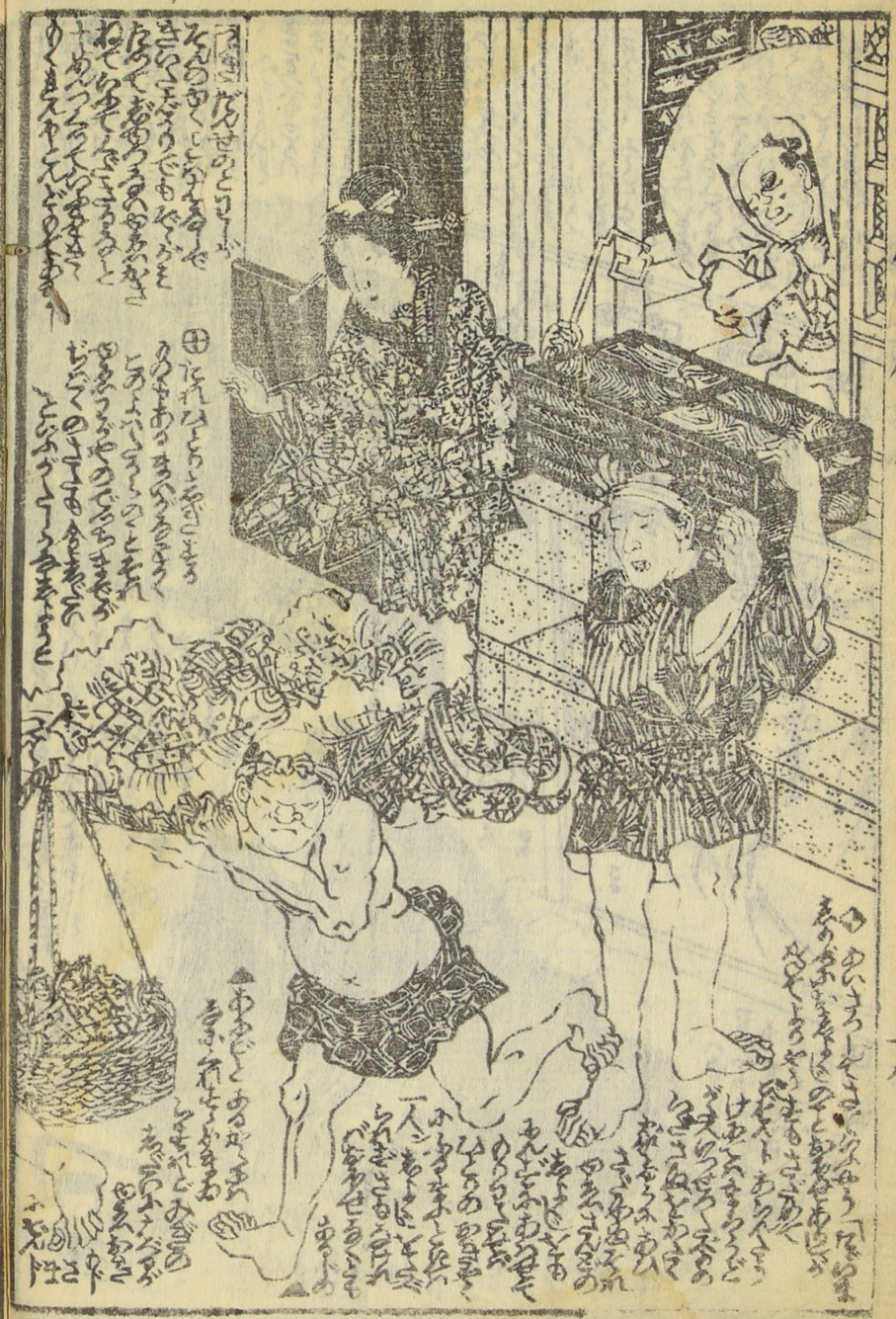
錦耕堂

安


秀

御膳酒





万亭應賀作 歌川國貞画

倭文庫

五十一編
五十三編
五十二編 万亭應賀作
五十四編 一陽齋豊國画

重井菱漆別小紋

爲永春水作
歌川豊國画
八編
大尾

新編朝日譚

柳亭種彦作
一恵齋芳幾画
二編
三編

花山吹百人女郎

柳亭種彦作
同画
初編
二編

浜まなみ

十返舎一九作
同画
五編
大尾

常磐津懐中本

初編二編 小本あく言分
三編四編 あり極上ぼんのり

彙繪草紙本類問屋

人形町
上州屋重藏板